

*月例経済報告（平成 24 年 8 月）が発表されましたので次の個所を変更します。

平成 24 年 8 月 28 日

経済動向

総論（我が国経済の基調判断）

景気は、このところ一部に弱い動きがみられるものの、復興需要等を背景として、緩やかに回復しつつある。

- ・生産は、このところ横ばいとなっている。輸出は、弱含んでいる
- ・企業収益は、持ち直している。設備投資は、緩やかに持ち直している。
- ・企業の業況判断は、大企業を中心に小幅改善となっている。
- ・雇用情勢は、依然として厳しさが残るものの、改善の動きがみられる。
- ・個人消費は、緩やかな増加傾向にある。
- ・物価の動向を総合してみると、下落テンポが緩和しているものの、緩やかなデフレ状況にある。

先行きについては、当面、世界景気減速の影響を受けるものの、復興需要等を背景に、景気回復の動きが続くと期待される。ただし、欧州政府債務危機を巡る不確実性が依然として高いなかで、世界景気のさらなる下振れや金融資本市場の変動が、我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、電力供給の制約、デフレの影響等にも注意が必要である。

（資料出所：24.8.28 内閣府「月例経済報告」）下線部は、先月から変更した部分